

講義名	日本文化論			授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

テーマ：日本の日常生活（生活文化史）の特色
この講義の目的は、日本の文化にねざす民俗(日本の日常生活)の特色を学ぶことにある。文化は文字に記されている史料以外に、文字に記されていない民俗資料からも窺える。例えば、家や地域に伝わる生活の習慣や言い伝え(伝承)が、私達の生活の特色を知る手段になる。
そこで、日本の日常生活の中で受け継がれてきた項目を具体的に取り上げながら、講義を進める。

到達目標

学生が、講義の内容を理解した上で、自分の日常生活の特色(地域性)に気付き、興味のある事柄を見つけ、自らの言葉で一つ説明できるようになる。

提出課題

講義では毎回、講義内容に関わる感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらう。
小レポートのテーマは、講義ごとに伝える。
小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。
学期末レポート課題の詳細は別途、12月前半に、講義中の説明ならびにRYUKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の講義に書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の講義などで、日本の日常生活の事例として紹介する。

評価の基準

評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。
評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配付し、詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

1. 履修開始時間に着席しておくこと。
2. 予備や履修で調べた内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
3. 講義中に私語をして、他の人の受講の妨げにならないように注意すること。
4. 15回の講義の出欠管理は、各自で行うこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
各回毎、プリント資料を配布する。
プリント資料は無くさないように保存すること。
<参考文献>
講義中に適宜、紹介する。

授業計画

講義の進め方の詳細は、第1回の講義の時に説明する。

- 第1回 「日本文化とは、生活文化史をどのようにとらえるか」
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第2回 「住居」 地形や気候に応じた各地の住まい
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第3回 「衣服」 木綿の登場
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第4回 「食制」 八日の日の食事
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第5回 「生業」 海や山で仕事をする人々
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第6回 「贈与・社交」 社会と人々
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第7回 「労働・村構成」 ユイの心
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第8回 「人生儀礼」 誕生・結婚の儀礼
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第9回 「人生儀礼」 葬送儀礼
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第10回 「年中行事」 節供、大正月と小正月
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第11回 「年中行事」 お盆
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第12回 「神祭」 神祭を行う人々
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第13回 「舞・踊・競技」 盆踊り、初風の風習
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第14回 「言語芸術」 命名・民俗語彙のもつ意味
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。
- 第15回 「心意現象」 民間信仰
本節内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事柄を1つ調べておく(120分)。
復習内容：配布資料を読み、講義内容の要点を確認し、各自の身近な事例を考えてみる(120分)。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。
(2) 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手法を用いて収集・調査・整理することができる(情報収集力)
・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる(情報分析力)
・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる(課題発見力)
・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた進捗や取組みを明らかにした上で、具体化することができる(構想力)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義は、プリントを用いた講義の形式で進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。講義担当者は日本民俗学に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用して授業を行う。

備考

《受講生へのメッセージ》
この講義では、日本の私達の日常生活が、すべてテーマになる。そのため、目頃から自分の周囲の生活に関心を持ってもらいたい。
また、日常生活における自らの体験談、他の人から教えてもらった話も貴重な資料になる。各自が「当たり前と思う日常生活」には、「地域ごとの特徴がある」ということに気付いていただきたいと思う。